

介護保険三施設

介護保険で入所できる以下の3施設を言う。要介護認定で要介護1から5の人が、それぞれの目的に応じた施設に入所できる。

- (1) 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム):在宅での生活が困難な人が入所する生活施設
- (2) 介護老人保健施設(老人保健施設):病状安定期にある人が介護やリハビリテーション, 医療を受けながら在宅生活に戻ることが目的とした施設
- (3) 介護療養型医療施設:積極的な治療は必要ないものの, 医療用チューブを使用するなど医学的な管理が必要な人が長期間入院し, 療養する施設

ハートフルプラン

「農山漁村高齢者生きがい発揮促進事業」(1995~2001年)の愛称で, 医療機関などが自宅から遠い農山漁村の地域で, 在宅健康管理システムなどを活用することにより, 高齢者の健康や生きがいを支援する事業。

EBH

Evidence-Based Healthの略で, 根拠に基づく健康管理のこと。体重, 体脂肪率, 血圧などのデータを家庭で日々計測し, 自己の健康管理に役立て, 生活習慣病などの疾病予防につなげる。

ゴールドプラン21

介護保険制度が始まる2000年(平成12年)4月から5か年の, 介護サービス基盤整備などを盛り込んだ高齢者保健福祉計画。

新予防給付

介護状態の改善と自立を促すために行われる介護予防サービスに対して, 介護保険から対価を給付する仕組み。要支援, 要介護1の軽度要介護者の増加抑止を図るため, 2006年4月の介護保険法改正で新設される。このサービスの実施主体は自治体であり, 筋力向上トレーニング, 低栄養指導, 口腔(こう)ケアなどが主な予防サービスである。

DPC

Diagnosis Procedure Combinationの略で, 診断群分類と訳される。患者を病名(Diagnosis)と提供されたサービスの種類(Procedure)の組み合わせによって整理, 分類する方法。業務内容の合理化を目的とした産業界のQC(Quality Control:品質管理)の手法を医療現場に適用したもので, 病院運営や経営マネジメントに有効な指標とされる。

情報処理機器アクセシビリティ指針

障害者・高齢者がパソコンなどの情報処理機器を使えるようにする, あるいは使いやすくするための指針。通商産業省(当時)が1988年から調査を日本電子工業振興協会(当時)に委託し, その結果を1990年に公表した。その後二度指針を改定して, 2004年に指針はJIS化された。